



大用中だより

No. 24

令和5年1月10日(火)発行

四万十市立大用中学校 (文責) 田辺

さあ、まとめの3学期



新年明けましておめでとうございます。今年が希望に満ちた笑顔あふれる一年でありますようお祈り申し上げます。

1月10日(火)、穏やかな晴天に恵まれ3学期の始業式を行いました。17日間の冬休みを健康に過ごし、全校生徒6名が揃いました。この冬休みを計画通りに過ごせた人はこの調子で、また、ちょっと思った通りではなかったなと感じる人は、計画を練り直し、今日からの過ごし方を工夫してみましょう。



3学期は1年間の総まとめの時期です。今学期の登校日数は3年生は45日間、2年生は52日間です。きっと瞬く間に過ぎていくことと思います。

3年生は高校受験が近づいてきました。2年生は修学旅行や都道府県大会と大きな行事が控えています。これまでと同じように一日一日を全力で、日々の授業に真剣に取り組みましょう。自分自身を大切にし友だちに優しく、家族や地域の方々に感謝しながら豊かな心で過ごしましょう。

自分の夢や希望に向って、一生懸命考えること、周囲の人々とたくさん話すことを心がけ、笑顔いっぱい年度末を迎えましょう。

今学期も私たち教職員は生徒の皆さんがやってみたいことやチャレンジすることを全力で応援します。私たちの楽しい学校を全校生徒と教職員が協力し合って実現していきましょう。新しいことや楽しいことにもどんどんチャレンジしていきましょう。

保護者や地域の皆様、本年もどうぞよろしくお祈りします。

ちょっと 元気になる言葉

やりたいと思う自分の気持ち大切に。
結果や人にほめられることを期待してはいけない
〈ベートーヴェン ドイツの作曲家〉

必死に生きてこそ、その人生は光る。
鳴かぬなら 殺してしまえ ほととぎす
〈織田 信長 現在の愛知県出身の武将〉

鳴かぬなら 鳴かしてみせよう ほととぎす〈豊臣 秀吉〉
鳴かぬなら 鳴くまで待とう ほととぎす〈徳川 家康〉
鳴かぬなら それもまたよし ほととぎす〈松下 幸之助〉

一生というものは、美しさをつくるためのものだ、自分の。そう信じている。〈司馬 遼太郎 作家〉
己が性せいにまかせて長じ、とりどりにめでたくあるべし。〈大隈 言道 歌人〉